

かなざわちゅうおう

# 金沢中央地区

(石川県金沢市)

- 計 画 期 間 平成16年度～平成20年度
- 面 積 916ha
- 交付対象事業費 5,711百万円
- 市人口 447,209人

**ポイント** まちなかの定住と交流の促進を図り、まちを元気に。

**地区概要** 用水やまちなみ整備などの基幹事業により金沢らしい伝統景観の保全に努めるとともに、まちなか交流活動の促進や安全なまちづくりによりまちに人を呼び込み、中心市街地の活性化を図る。

**目 標** 中心市街地における定住や交流の促進を図り、21世紀型の成熟・凝縮した地方中枢都市の再生を目指す。

## 指 標

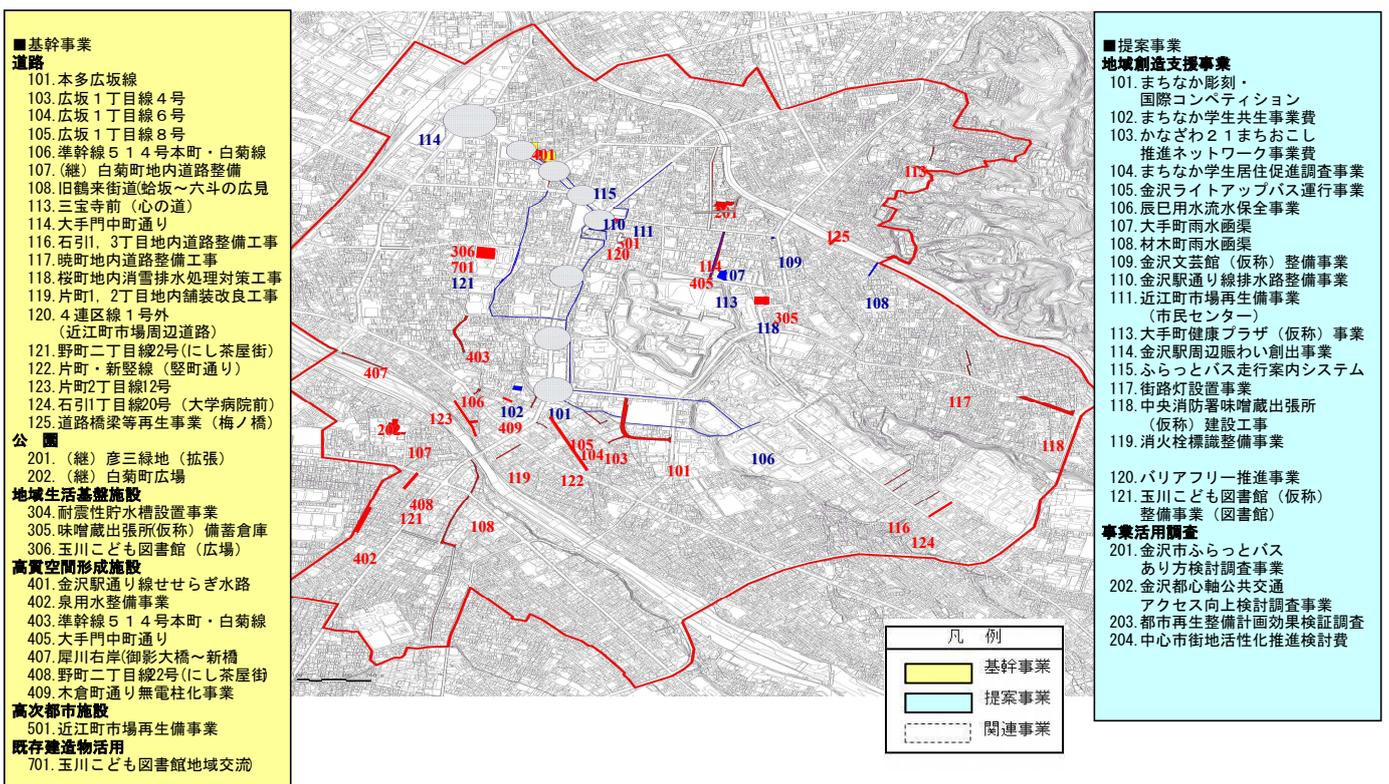
定住と交流の促進結果を測る指標として、社会動態や住宅増加（定住）と歩行者や入場者の増加（交流）を設定した。

指標	従前値 (H15)	目標値 (H20)	実績値 (H20)
地区人口社会動態	平均△103人/年	0人/年(H20)	+53人/年
新規着工住宅戸数	平均420戸/年	500戸/年	261戸/年
商店街歩行者通行量	平日44,793人/日	44,793人/日	38,452人/日
公共施設入場者	平均2,223千人/年	2,500千人/年	3,788千人/年

## 事業内容

基幹事業(4,085百万円) → 道路(幅員3m～35m、延長4,288m)、公園(2か所5,611㎡)、耐震性貯水槽(2基)、備蓄倉庫、せせらぎ水路、電線類地中化(延長780m)、地域交流センター2箇所・子育て世代活動支援センター等

提案事業(1,626百万円) → まちなか彫刻コンペ(彫刻設置)、駅賑わい創出(イベント、調査)、各種学生共生事業、文芸館整備、健康プラザ整備、バリアフリー推進事業、辰巳用水保全事業、ふらっとバス走行案内システム、街路灯設置、公共交通検討調査、玉川こども図書館整備等



## 地区の現況と課題

金沢城史を中心とした藩政期の城下町の区域であるとともに、市内交通の要衝にあり小売業を中心とした本市最大の商業集積地を形成し、業務・居住機能や公益施設等も集積している地区である。しかし、昨今、郊外部への大型店舗の進出や都心部の交通渋滞、さらに人口のドーナツ化現象に伴い、都心部の空洞化が進行し、まちなか定住人口の減少や商店数・事業所数の減少など都心活力が低下しつつある。



まちなか彫刻コンペ受賞作品

## 提案事業の特徴

### まちなか交流活動の促進

平成16年度に完成した金沢21世紀美術館と金沢駅東広場の2大ランドマークをつなぐ都心軸に彫刻を設置し、イベントを行うことにより、楽しく歩けるまちなみを創出する。また、旧映画館を学生の活動の場として提供し、文芸館や健康プラザの整備、市場の再開発によりまちなかに人を呼び込む。



### 安全・安心なまちづくり

防犯灯や防火水槽、防災備蓄倉庫の設置や消防署の建設など防犯・防災分野からオストメイトトイレの設置などの福祉分野まで幅広い事業によって魅力ある住環境を整えると同時に、交通調査により車依存型交通から公共交通への転換の方策を検討し、安全・安心で人にやさしいまちづくりを行う。



金沢文芸館

## 計画策定プロセス

本計画の上位計画として中心市街地活性化基本計画が策定されているが、それは以下のプロセスを踏まえている。

### 実施事業の進捗状況の把握

統計資料の分析により前回の基本計画（5年間）における事業の成果を集計し、効果を検証した。

### 市民アンケートの実施

前回基本計画の市民評価や今後の中心市街地に必要な要素、まちづくりへの参加意識などの調査を行った。



市民の足「ふらっとバス」

### 金沢市市街地活性化推進委員会による審議

経済界、商業者、学識経験者、市民等で構成された委員会によりアンケート結果や前回計画の成果を審議し、その策定課程を公開することによりパブリックコメントの導入を図りながら、新たな基本計画を策定した。